



沖縄県

株式会社 サンシャイン

「サンシャインゆいま〜る(寄付)」
事業



株式会社 サンシャイン
代表取締役社長
新垣善彦さん

沖縄で活動する団体をお客様と一緒に支援する
助け合い精神に基づいた
地域密着型社会貢献

相互扶助のゆいま〜る精神に基づく
社会貢献で地域を盛り上げる

都道府県、支部組合、組合員ホールなど様々なレベルで社会貢献や地域貢献活動に取り組んでいる遊技業界だが、ホールが立地する地域住民の方々も参加できるようなものが、活動の理想的な形の一つと言えるのではないだろうか。それを具現化しているのが、沖縄県内でグループ企業とともに、サンシャイン、ジャンボ、J・Parkなどのホールを展開する株式会社サンシャインである。

同社では毎年、おきなわマラソン(2月もしくは3月開催)でのボランティア(給水ブースの設置など)、社内スタッフが持ち寄った食品などを寄贈するフードドライブ(7月ごろ+不定期)、沖縄全島エイサーまつり(8月)の会場クリーンアップ運動などを行っている。また、2007年には県内の社会福祉法人・授産施設で就労する知的障がい者が製造するパンを継続的に購入し、ホール来店客に景品として提供する「知的障害者の社会就労支援」事業で組合員ホール部門最優秀賞を受賞している。

こうした活動のベースとなっているのが、沖縄に昔からある「ゆいま〜る」という言葉である。これは協働作業を意味する「ゆい(結い)」と、廻るを意味する「ま〜る」が一体化した言葉で、本来は農家がお互いの畑仕事などを順番に手伝うことを意味していたが、現在は人と人が助け合う相互扶助を表わす言葉として沖縄で広く使われている。このゆいま〜るの精神を象徴するのが、お客様参加型地域密着社会貢献モデルとして、同社が2017年から続けている「サンシャインゆいま〜る」である。

団体名	寄付金	団体名	寄付金
ドクターヘリメッシュサポート	298,000	女性を元気にする会	184,000
フードバンクセカンドハーベスト沖縄	157,000	琉球わんにゅゆいま〜る	131,000
やんばるちびっこの会	117,000	Okinawa PuppyMill Rescue	115,000
子どもフードバンクともカフエ	111,000	グワン産院の会たんぽぽたん	105,000
しんぐるまざあず・ふかーらむ沖縄	102,000	沖縄県自閉症協会会員の会まいわーど	86,000
沖縄県特別支援学校体育連盟	76,000	難病福祉支援センターアンビシャス	75,000
おきなわ子ども未来ネットワーク	74,000	那覇市母子支援福祉会	74,000
防災サポート沖縄	74,000	ゆいま〜るの会	73,000
おきこあわんネットワーク	71,000	沖縄パンキョウパンアフィリエイト	71,000
ワン'sパートナーの会	70,000	視覚障がいの子も道を育む親の会	70,000
子供医療支援わらびの会	67,000	沖縄県児童障害者福祉協会	67,000
うちなー助産婦.com	67,000	沖縄県青年障がい者福祉協会	66,000
全県パーキンソン病 友の会	66,000	マニースマーケット子ども虐待防止	64,000
琉球大学沖縄健康推進委員会	59,000	沖縄子どもの未来委員会	58,000
沖縄県難聴聴覚障害者協会	53,000	Wellness研究会OKINAWA	48,000
沖縄県障がい者スポーツ協会	47,000	読み聞かせボランティアすまれの会	46,000
糸満市社会福祉協議会	46,000	沖縄県聴覚障害児を持つ親の会	45,000
こども家庭リソースセンター	44,000	沖縄国際会(あち)の電話	44,000
福祉とまちづくりを考える会	44,000	ある10代ママくらぶ	44,000
みんなのもやま子ども食堂	41,000	命どうきまもり隊	41,000
Kokua	41,000	伊良波女子ハイキュー部	36,000
石垣島児童養育施設ならさ	35,000	沖縄県障害者支援ゆいセンター	35,000
ヒトリーチャー子育ての広場	34,000	那覇市身体障害者福祉協会	34,000
沖縄マリッジライフアドバイザー	33,000	アジア観光言語学校りりり子ども未来プロジェクト	32,000
子ども応援倶楽部	30,000	宮古島美ぎ島宮古グリーンネット	30,000
琉球県全県ネット	30,000	アメリカンスクールイン・オキナワ	30,000
石垣島アスリートクラブ	30,000	子どもの居場所kukulu	30,000
星のおちMIKE	30,000	夢WALK	30,000
沖縄ウォーターセーフティ協会	30,000	ちび栗らゆいま〜る連合会	30,000
りん・輪	30,000	南城市カルタをつくる会	30,000
ゆうゆう児童クラブ	30,000	風(おおとり)	30,000
沖縄社会教育サポート	30,000	真和志King	30,000
ガンマリクラブ	30,000	中城南小学校女子ミニバスケ	30,000

店内POPなどの寄付団体や寄付金を報告し活動を周知



サンシャインゆいま〜る寄付金贈呈式

お客様の投票で寄付額が決められる
「サンシャインゆいま〜る」を実施

この「サンシャインゆいま〜る」は、県内で活動しているNPO法人やボランティア団体などに対し、お客様の投票により、その活動資金や支援資金を寄贈するもので、同社とお客様、地域がまさに「ゆいま〜る」でつながる持続性のあるCSR活動である。

具体的には、まず県内で活動する「保健・医療・福祉を支える団体」「街づくりに取り組む団体」「子どもの成長を支える団体」「文化芸術・芸能・スポーツ団体」「自然環境・動物保護団体」「学校全般・その他団体」の6ジャンルの団体で、過去6ヶ月以上の活動実績があり、かつ今後もその活動を継続的に実行できる団体を募集し、社内の選考会で登録団体として決定する。来店したお客様は、店内の景品カウンターで投票用紙を受け取り、自分が応援したいと思う登録団体の投票箱に投票するという仕組みで、それを1クール(6ヶ月)ごとに集計し、得票率に応じて登録団体に寄付額が贈られることになっている。寄付金の原資(1クール約400万円)は、同社で用意する。2023年12月までの14回で、延べ850団体を支援し、累計寄付額は63,691,000円となっている。

このプロジェクトを発足させるにあたり、同社では事務局を立ち上げ、1年がかりで計画を練り、県内で活動している60~70団体を訪問して趣旨を説明し、賛同した団体と協力体制を構築したうえで実施に踏み切った。また、グループのホールや登録団体の施設へのポスターやパンフレットの掲出、クールごとの登録団体のホームページやSNS、店内POPなどでの寄付報告掲載や団体募集の折り込みチラシの投函、登録団体の活動の様子の視察など、主催者としての責任ある準備や細心の注意を払って臨んでいる。行政や関係機関などからも高い評価を得、寄付をした団体からは礼状や感謝状なども届けられ、活動の継続を強く要望されている。